

2021年3月期 第1四半期決算 電話会議での主な質疑応答（要旨）

- Q1：航空貨物輸送の営業粗利益率は、競争激化等によりすでに低下傾向にあるのでしょうか。
- A1：スポット案件では厳しい販売価格が出始めるなど、競争が激しくなっていることは事実です。
- Q2：航空貨物輸送の需給環境はどのようになっていますか。また、競争が激しくなる背景について教えてください。
- A2：現時点と4月～5月頃を比べると需給は少し緩んできています。需要が増えない中、競争環境も徐々にコロナ前に戻りつつあります。
- Q3：欧米地域での輸送需要が戻ってきたほうが輸送距離の長い分、収益的にはプラスになるのでしょうか。
- A3：輸送距離が長い分、運賃の販売価格は高くなりますが、例外なく競争が激しい地域でもあることから、今後は利益面で苦戦する可能性があります。
- Q4：通期予想は詳細な情報にもとづいて作成したのですか、それとも先行き不透明中、前年並みの利益を確保するという意志のもとに作成したのでしょうか。
- A4：確固たる要因の積み上げというより、現場からの情報と前年並みはどうしても達成したいという思いのもとに作成しました。ただし、事業環境の先行きが不透明であることに変わりはなく、状況次第では上方にも下方にも振れる可能性はあります。
- Q5：米中関係がさらに悪化した場合、どの地域でどのような影響が出る可能性がありますか。
- A5：濃淡こそあるものの、世界の様々な地域で貿易に制限がかかる可能性があり、グローバルで物流が停滞する懸念があります。

以上